

ごあいさつ

幌延町長

宮 本 明



新年あけましておめでとうございます。
町民皆様におかれましては、新たな気持ち
で希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶
び申し上げます。

わが国を取り巻く内外の情勢は依然厳しい
ものがあり、昨年は、食品への毒物混入や偽
装、原油の高騰による石油製品を始めとする
様々なものの値上がり、アメリカのサブプラ
イムローン問題に端を発した世界的な金融恐

慌など、私たちの生活をも直撃するような状
況にありました。

また、ゲリラ的な集中豪雨や地震の発生な
どの自然の脅威に加え、無差別殺人や家庭内
での悲しい事件など、不安を募らせるような
悲惨なニュースも連日飛び込んでまいりまし
た。

そのような中、幌延町においても厳しい財
政状況ではありますが、深地層研究事業など
の成果を足がかりに、地域の一層の活性化の
ための事業に本年も取り組んでまいります。

昨年より実施しております知的障害者援護
施設町立北星園の改築工事は、本年秋完成の
運びとなります。また、独立行政法人日本原
子力研究開発機構による国際交流施設(仮称)
についても、本年秋には開館となる予定で、
来年からは併設する生涯学習センターの建設
に着手いたします。

快適な暮らしを守る環境整備として、公共
施設のスロープ設置や町道の改良事業など、
バリアフリー化を計画的に進めているところ
で、町民の皆様には工事作業などで何かとご
不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力
をお願いいたします。

また、皆様のご協力をいただいて制定作業
を進めてまいりました「まちづくり基本条例」
が、昨年末の定例議会において議決いただき
4月から施行されます。あわせて「町民参加条
例」についても、4月施行を目指して取り組
んでいるところです。更には、町民の暮らし

を守るための「幌延町安全で安心なまちづく
り推進条例(仮称)」の制定に向けての検討も
進めてまいります。これらの条例は、私が皆
様にお約束しております、『町民主体のまちづ
くり』の理念を条例化したものであり、より
一層の町民皆様の行政への参加をいただき、
協働のまちづくりを推進してまいりたいと考
えております。

地方分権が進み、地域のことは地域で決め
るといふ時代になってまいりました。このよ
うな時代だからこそ、「自ら考え」、「自ら判断
し」、「自ら実行して」、「自ら評価」する行政運
営を行っていかなくてはなりません。幌延町
にとって最も必要な施策は何かを議論し、選
択をしていく「選択と集中」が大事です。その
ためにも、町民皆様の知恵とお力をお貸しい
ただきますよう、お願いいたします。

今年は丑年です。酪農の町幌延にとって、
昨年は飼料、肥料、燃料の高騰により、厳し
い酪農情勢でしたが、今年は一層の飛躍の年
となることを願ってやみません。牛のように、
ゆつくりと確実な歩みで前へ前へと歩を進め
て行き、未来を担う子ども達へ誇りをもって
引き継げる郷土を築いていきたいと思えます。
平成二十一年も町職員一同、夢と活力に満
ちた安心安全のまちづくりのため、努力して
まいります。

新しい年が、希望に満ちた明るい一年とな
りますようお願いするとともに、町民皆様のご
健康とご多幸をお祈り申し上げます。